

令和元年度 第72回近畿高等学校サッカー選手権大会 実施要項

- 1 大会名 第72回近畿高等学校サッカー大会
- 2 主催 近畿高等学校体育連盟・兵庫県教育委員会・(一社)関西サッカー協会・(一社)兵庫県サッカー協会
- 3 主管 近畿高等学校体育連盟サッカー専門部・兵庫県高等学校体育連盟サッカー専門部
- 4 期日 令和元年6月15日(土)、16日(日)、17日(月)
- 5 会場 三木総合防災公園陸上・第2陸上競技場・みきぼうパークひょうご第1・第2球技場(天然芝)
- 6 参加校 【男子】大阪府(4校)、兵庫県(3校)、京都府(2校)、滋賀県(2校)
奈良県(2校)、和歌山県(2校)、開催府県(1校) 計16校
【女子】大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、奈良県、和歌山県 各1校 計6校
- 7 代表者会議 実施しない
- 8 開会式 実施しない
- 9 閉会式 令和元年6月17日(月) 男子決勝戦終了後 三木総合防災公園陸上競技場
- 10 参加資格 (1) 2019年度(公財)日本サッカー協会への登録を完了し、かつ各府県高等学校体育連盟に加盟する単独チームであること。ただし、統合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる参加を認める。(準加盟校は参加できる。)
(2) チーム編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
(3) 選手は2000年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の場合は、同一競技3回限りとする。
(4) 転校後6ヶ月未満の生徒は参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、各府県高体連会長の許可があればこの限りではない。
(5) 高体連加盟チームに所属していた選手は他校において6か月間は出場できない。
(6) 転校の有無にかかわらず、他の連盟から高体連加盟チームへ移籍する場合は(4)に準じるものとする。ただし、この規定の適用は当該年度内に限るものとする。
(7) 各府県において、予選またはその他の方法により、上位校より順に選出する。
(8) 各試合の登録選手は、(公財)日本サッカー協会発行の選手証を試合会場に持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認証が確認できるものとする。
※選手証とは、(公財)日本サッカー協会のWEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの、また、スマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。
(9) 引率責任者は学校長の認める当該校の職員または部活動指導員とし、大会中の選手、生徒の全ての行動に責任をもつものとする。
(10) 参加する生徒はあらかじめ健康診断を受け、在学する校長の承認を必要とする。
- 11 競技規定 (1) (公財)日本サッカー協会「競技規則2018/2019」による。
(2) 大会登録選手は25名以内とする。
(3) ベンチに入ることのできる人数は、最大9名の交代要員と最大6名のチーム役員(通訳を含む)とし、メンバー提出用紙にて特定されなければならない。特定された者の中から、その都度、1名のみがテクニカルエリアに出て戦術的指示を与えることができる。
(4) 選手の交代は、競技開始前に登録した最大9名の交代要員の中から、最大6名までの交代が認められる。なお決勝戦において、延長戦に入った場合、さらなるもう1名の追加は認めない
(5) 本大会の予選は女子においてのみ懲罰規定上の同一競技会とみなす。よって、予選終了時点で未消化の出場停止処分(警告の累積による場合を除く)の扱いは次のとおりとする。
a) 男子…全国高校総体出場校は同大会において順次消化する。全国高校総体に出場しない本大会出場校は本大会において順次消化する。
b) 女子…本大会において順次消化する。
(6) 退場を命じられた競技者は本大会の次の試合1試合の出場を停止し、それ以降の措置については大会規律委員会で決定する。本大会終了時点で未消化の出場停止処分(警告の累積による場合を除く)は、男子においては直近の公式試合で、女子においては全国高校総体出場校は同大会において順次消化、全国高校総体に出場しない本大会出場校は直近の公式試合で順次消化する。
(7) 本大会中2度の警告を受けた競技者は、本大会の次の1試合の出場を停止する。
(8) 競技開始70分前に試合会場本部にて会場責任者・審判員・出場チーム(原則として監督)によるマッチコーディネーションミーティングを実施する。出場チームは、メンバー提出用紙・選手証・ユニフォーム(正副)を持参すること。
(9) 留学生については登録を4名以内とし、そのうち2名が出場できる。
(10) マルチボールシステムを採用する。(試合球を合わせて5~7球)
- 12 競技方法 (1) トーナメント方式とする。
(2) 試合時間は70分とし、勝敗の決しないときはPK方式により次回戦への出場を決定する。決勝戦においては、20分の延長を行い、なお勝敗の決しない場合はPK方式により優勝校を決定する。ハーフタイムのインターバルは10分とする。
- 13 表彰 それぞれの試合終了後、男女別に行う。
【男子】(1) 1位 優勝旗および優勝カップ・会長杯・表彰状授与
2位 準優勝盾および表彰状授与
3位 表彰状授与
(2) 本大会においてフェアプレー精神の育成・向上のため、フェアプレー賞を協会選考基準に従い選考し、授与する。フェアプレー賞はチーム単位とし、ベスト4に進出したチームの中から選考される。
【女子】(1) 1位 優勝カップおよび会長杯・表彰状授与
2位 準優勝盾および表彰状授与
3位 表彰状授与
(2) 優勝校および準優勝校の2チームは、令和元年度全国高等学校総合体育大会の出場権を得る。
- 14 その他 (1) 組み合わせ表等は、決定次第参加校に送付する。
(2) 各参加校には、顧問・監督各1名、選手25名、計27名分のプログラムを無償配布する。
(3) 選手番号は1~25までの通し番号とし、参加申込書と同じ番号とすること。選手番号はシャツの前後に付けること。なお、ショーツもつけることが望ましい。
(4) ユニフォームは正副2着を必ず携行すること。副のユニフォームは、シャツ、ショーツ、ソックスとも正のユニフォームと明確に区別された異色のものであること。また、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。
(5) エントリー変更、および選手番号の変更は認めない。
(6) エントリーは25名以内とし、追加登録選手は3名以内とする。追加登録の可能性がある場合は参加申込書の当該番号を空白のまま提出すること。また、追加登録用紙は所定の様式により必要事項を記入の上、6月10日(月)16時まで大会事務局にFAXすること。なお、原本は1回戦の試合会場本部に提出すること。
(7) ベンチの位置は、会場本部からグラウンドを見て、組み合わせ番号の若いチームが左側を使用する。
(8) 大会使用球は、大会本部が用意する。
(9) 天候その他の不測の事態が発生した場合は、近畿高体連サッカー専門部委員長会議でその対応を決定する。